

＜対策のポイント＞

積算技術に関する各種技術情報の収集、調査及び検証を行い、**効率的かつ適切な事業執行に資する積算基準等の整備**を行います。

＜政策目標＞

- 担い手への農地の集積・集約化等を通じた農業競争力の強化及び高収益作物への転換等を通じた産地収益力の強化
- 頻発化・激甚化する災害に対応した施設整備による農業・農村の強靱化
- 農業水利施設の戦略的な保全管理

＜事業の内容＞

土地改良事業における積算基準等の整備

農業農村整備事業における工事の適正な予定価格の算出、効率的かつ適切な事業執行に資するため、各種技術情報を収集するとともに**施工費、諸経費及び機械損料等の実態を調査・検証し、積算基準等の整備**を行います。

＜事業実施主体＞

国（国費率：10/10）

＜事業イメージ＞

事業背景・課題

- ・近年の農業農村整備事業等の公共工事では、建設業就業者数の減少・高齢化が進行しており、働きやすい就業環境の確保や、施工の効率化などが求められている。
- ・また、建設現場の生産性向上のための新技術の導入を促す取組を進めているところ。
- ・併せて、公共工事の品質確保の促進に関する法律の改正に伴い、担い手の中長期的な育成・確保のための適正な予定価格の作成、働き方改革の取り組みとしての休日確保等の就業環境の整備、新技術の導入・普及に向けた積算基準等を機動的に整備することが必要。

期待される効果

就業環境の変化や新技術の導入、品確法の改正等に対応した積算基準等を整備することで、工事の適正な予定価格の算出が可能となり、効率的かつ適切な事業執行に資することが可能。